

## DT-Storage Ver.3.3.0 リリースノート

弊社の「動的テストツール DT-Storage」をご利用いただきありがとうございます。  
このリリースには、機能改善、製品構成の一部変更、問題点の修正が含まれています。

### ▼ 機能改善 : Ver.3.0.0 → Ver.3.3.0

- ・Windows10 に対応しました。
- ・ソースコード整形を伴う TP 自動挿入に対応し、プロジェクト設定項目を追加しました。
- ・C#ソースへの TP 自動挿入において、yield return の前への FuncOut 挿入に対応しました。
- ・DTPlanner において、アイテムダブルクリックによる DT10 表示の同期に対応しました。
- ・テストレポートリストの右クリックメニューにエクスポート項目を追加しました。
- ・レポート取得開始・停止ポイントに設定できる種類に、変数値出力ポイントを追加しました。

### ▼ 製品構成の変更 : Ver.3.0.0 → Ver.3.3.0

- ・ユーザーズマニュアルが削除されました。製品のマニュアルは、ヘルプ機能をご利用ください。

### ▼ 既知の不具合修正 : Ver.3.0.0 → Ver.3.3.0

- ・DTCmd において、テストポイント挿入時にキャンセルポイントが発生すると強制終了する場合がある問題を修正しました。
- ・関数トレースにおいて、イベント ID をタスクとして解析するとき、ネストが正しくない問題を修正しました。
- ・レポートデータ読み込みでエラーが発生した場合にも、レポートが開いた状態になる問題を修正しました。
- ・テスト報告書内の ResultList ダイアログにおいて、OK、NG 判定が保持されない問題を修正しました。
- ・派生 New/Delete 等で明示的なクラス記述があった場合、テストポイント挿入時、エラーになることがある問題を修正しました。
- ・実測値が 0 の時の Typ/Max 余裕度の表示が不定である問題を修正しました。
- ・解析結果の自動引継ぎ有効時に、単一で順次解析した時と合算解析した時で C1 解析の結果が異なる場合がある問題を修正しました。
- ・DTPlanner を開いた状態で DT10 側から通過実績を変更した時、開き直すまで DTPlanner に反映されない問題を修正しました。
- ・英語版アプリケーションにおいて、同じ意味で異なる単語を使用している表記ゆれの箇所を統一しました。

## ▼ Ver.3.3.0リリース時点の既知の不具合

- ・DTPlanner を開いた状態でレポート解析を実行した時、DTPlanner のアイコンが更新されないことがある。
- ・C#ソースにおいて、名前が 256 字以上のクラス内で関数定義として operator で型変換をオーバーロードした関数があると自動挿入エラーになる。
- ・C#ソースにおいて、IEnumerator.MoveNext のように関数名の前に書かれることがあるクラス名を自動挿入ライブラリが取り出せない。
- ・接続方式によって利用できないテストポイント種別も挿入することができてしまう。
- ・英語版ヘルプにおいて、Screen Structure\_The main window ページの画像が小さく、クリックで拡大表示されない。
- ・英語版ヘルプにおいて、The Rule for Automatic Test Point Insertion ページの 1 枚目画像中に誤字がある。